

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	都市整備部都市計画課	■担当係	公共交通政策室
■評価事業名称	拠点間交通運行事業		
■事業開始年度	平成31年度		
■評価事業コード	070400 - 419	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	05 誰もが快適に暮らし続けられるまちづくり	
	■基本施策	04 みんなで支える公共交通体系の構築	
	■施策	01 地域の実情に応じた公共交通体系の構築	
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称	あじさい都市きたかみ公共交通網形成計画		
■事業の目的と概要	都市拠点及び地域拠点間を結ぶ交通ネットワークの構築を目的に、定時定路線の市町村運営有償運送(道路運送法第78条)を実施するもの。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和1年度事業計画	令和1年度事業量実績
01	拠点間交通運行事業	バス利用者	おに丸号立花岩崎線(道路運送法第78条運行)の運行・事業費17,703千円	おに丸号立花岩崎線(道路運送法第78条運行)の運行・事業費7,521千円

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	備考
直接事業費				6,213	
人件費				3,506	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト				9,719	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	28年度	29年度	30年度	1年度	指標の説明
01	おに丸号立花岩崎線の利用者数				3,719人	
02	おに丸号立花岩崎線の1便あたりの利用者数				3.6人	

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5-6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

1便あたりの利用者数目標を4人としていたが、3.6人とまずまずの利用状況であった。特に立花地区においてはマイバス意識の高まりがみられる。

問題点・課題等

岩崎地区においてはまだ浸透していない面が見られる。更なる周知が必要。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

運行開始の経緯から早急な見直しは難しいものの、将来的に運営方法の見直しを検討。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了